

令和2年度 第1回

播磨高原広域事務組合 総合教育会議 会議録

招 集 場 所	播磨高原広域事務組合 会議室
開 会	令和2年9月29日(火) 10時00分
出 席 者	管 理 者 遠山 寛 副管理者 山本 実 教育長 横山一郎 教育委員 河野雅晴、菅野夏子、竹内久美子、七條祐正
欠 席 者	
職務のため出席した者の職氏名	事務局長 西谷一徳 課長 井口大介 参事兼学校指導員 笹井茂行 主査 壽賀弥生
議 事 日 程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 管理者あいさつ 3. 教育長あいさつ 4. 出席者紹介 5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 播磨高原東小学校・東中学校の方向性について (2) 新型コロナウイルス感染症対策等について (3) 意見交換 (4) その他 6. 副管理者あいさつ 7. 閉会

(10時00分 開会)

事務局 定刻になりましたので、播磨高原広域事務組合令和2年度第1回総合教育会議を開催いたします。本日は、ご多忙の中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。本日は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4に基づきまして、播磨高原東小学校・東中学校の方向性についての協議と、現在の東小・中学校における新型コロナウイルス感染症対策等についてご報告させていただくものであります。総合教育会議につきましては、管理者、副管理者と教育委員会が相互の連携を図りつつ、協議・調整を尽くしながら、教育を行うための諸条件の整備、地域の実情に応じた教育・文化の振興を図るための重点施策、さらに、児童、生徒等の生命又は身体に被害が生じる恐れがあると見込まれる場合等に対する緊急措置などの協議を行うため、総合教育会議を設置することが義務付けられておりまして、本日、開催させていただくものでございます。本日の会議は、播磨高原広域事務組合総合教育会議設置要綱第6条の規定により、原則公開でございます。本日、傍聴者はいらっしゃいませんが、公開とすることで、ご異議ございませんか。

<異議なしの声>

それでは、公開として進行いたします。それでは、本会議の主催者であります遠山管理者からご挨拶をいただきます。遠山管理者、お願いいたします。

管理者 皆さん、おはようございます。令和2年度第1回播磨高原広域事務組合総合教育会議を開催いたしましたところ、公私ともご多忙の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。さて、今年の3月以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、教育現場においても、臨時休業措置や、教育行事の制約など、厳しい現状であると聞いております。本日は、今後の東小学校、東中学校の現状と今後の方向性についてご議論願いたくお集まりいただきました。皆さんと議論を交わしながら、このまち独自の教育の魅力を考えていきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

事務局 続きまして、横山教育長より、ご挨拶をお願いします。

教育長 本日の会議には、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。東小・中学校の方向性ということで、大きな議題としたいと思います。またコロナ対策に関わり、たつの市内の教職員の感染が確認され当該校を臨時休業としております。生徒はPCR検査をしております。東中に関わることとしましては、部活動の土日のうち、日曜日の揖龍大会が延期されております。新型コロナウイルス感染症については学校でしっかり予防策をとっておりますが、いつ感染がおきるかもしれないという危機感をもって対応したいと思います。今日は、その2つ

についてご協議いただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございます。続きまして、出席者のご紹介をさせていただきます。

<委員・事務局紹介>

引き続きまして次第により、協議事項に入りますが、ここからは、遠山管理者に議長をお願いしたいと思います。管理者、よろしくお願いいたします。

管理者 それでは、播磨高原東小学校・東中学校の方向性について、事務局に説明を求めます。

事務局 それでは、まず、はじめに、お配りしております要望書について、ご報告申し上げます。9月11日付で光都地域の教育を考える会代表山本良平氏より、播磨高原東小・中学校の児童生徒数の減少が進むことが予測されるなか、今後のまちとして、特色ある教育活動の実施、魅力ある学校として存続していくために、小中一貫校として改編されることを内容とする要望書が、横山教育長あてに提出があったものであります。この、要望書の内容にもありますように、まずは、小中一貫教育に取り組むことについて議論していきたいと思います。お配りしております児童生徒予測において、右肩下がりになっております。こういった中で小中一貫教育に向けた取組を教育委員会として進めていくことが妥当かどうかといった内容でご意見をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

教育長 小中一貫校としては近隣では姫路で3校ございます。但馬や西宮の方でも取り組んでおられます。小中一貫校にしますと、系統性を重視した学習カリキュラムによる学び、学習面や生活面のルール統一、中学校教員の小学校での授業、学校行事の合同実施、地域行事への合同参加というようなことが可能となりますが、東小学校、中学校ではまず小中一貫教育から進んでいった方がよいと教育長としては考えております。

委員 児童生徒数の予測ですが、光都地区の企業で働いている方の子弟は多いのでしょうか。多いのであれば、持ち直してくるのかもしれませんが。企業もコロナの関係で、自然環境の良いところに従業員を増やすこともあるし、閉めてしまうところもあるしというような過渡期であり、早速には決めにくいのかなあとと思います。

委員 西栗栖小学校との統合の話はどうなっているのでしょうか。

教育長 西栗栖小学校の保護者や地域の方には、播磨高原東小学校と統合しましょう、ということを示しており、協議会の中の話では、西栗栖としては統合はやむを得ないとなっております。ただ、統合先としては、東小との統合に賛成の人もあり

ます。また新宮小との統合が提案されている東栗栖小学校は統合すると大きな規模になりますので、多い人数で学ばせたいと考えておられる保護者もおります。それを、今後の協議で一本化をするように教育委員会としては進めたい。令和4年度末に西栗栖小学校を閉じて、令和5年度から播磨高原東と一緒にするという提案をしております。ただ、東小の45名に西栗栖が加わっても100人は超えません。

事務局 企業に勤務されている方に関しては、昼間人口が多く、夜間人口が1,300人で、その中でも一戸建てもありますが子どもの数は少ない状況です。また県大の学生寮や入院患者が含まれておりますので、1,000人をきる中で児童生徒となると何十人かと思います。企業もコロナの影響を受けリモートワークとなり、こちらへ来られる方が少なくなっております。そもそも光都地区内の子どもは少なく、令和2年度0歳から5歳では7人といった現状です。

教育長 小中一貫教育にすることで、学校の魅力をもう一度作り出し、児童生徒・保護者を増やすということが理想です。人口対策は、企業庁としても移住支援策を考えてくれるようお願いしており、考えるという返事はいただいております。

委員 播磨高原の学校の存続がかかっており、何か特色をもたせて人を集めたい。教育の力は大きく、あの学校に子どもを行かせたい、ということで親もついてくるので、企業庁のバックアップで学校も特色を出し、播磨高原の活性化につなげたい。その方法の1つとして、いいのではないかと私は思います。

委員 スプリング8のような研究施設や大企業があり、ミニつくばのような、そこにある学校として、モデル的な素晴らしい学校にしていきたい。小学校は1校であり、中学校としては県立大附属があります。県立大附属に地域枠を設けていただくとか、播磨高原事務組合立の小中の在り方についてはありますが、同じ地域にある学校として含めて考えていただく必要もあるかと。

教育長 県立大附属中学校は、選抜をするということになっておりまして、附属中を作る際にも議論がありましたが、選抜ではない普通校としての中学校を地域に残していきたいということもありまして、今回も附属中との関係は検討しましたが、住んでいけば行ける、という学校を残してほしいという願いがあります。大学側としては附属小学校の設置は考えておられないということです。

事務局 17年にコンピューターカレッジがなくなるときに、附属中学校の話がでてきて、兵庫県から附属中高一貫教育に関する基本構想が発表されました。地元住民を含めた検討懇話会での合意事項として、播磨高原東中学校を今後とも存続させ、場所と校舎は現在の位置で。提言としましては、高原東中と県大附属中学校の共存共栄を目指す、特色ある教育、魅力ある播磨高原中学校を作るという提言がな

されておりました。企業庁としても今後の在り方を考える中で、特色ある科学教育や国際教育という充実した小中一貫教育を目指すというのも1つではないかと、平成19年3月にも同じような話がありました。特色あるというのは科学技術の発展を支える学術研究機能との共存、トータルコンセプトとしては、人と自然と科学が調和する高次元機能都市ということを含め、小学校で実施しているようなサイエンスアドベンチャースクールというような特色ある教育というような実施をという話もありました。このような上で、児童生徒数の減少は歯止めがきかず、過去の提言も含めて皆さんに議論いただきたいところでございます。

委員 小中一貫ありきのようなお話ですが、そう思ってよろしいのでしょうか。

教育長 今日の会議の提案としては、方向性についてということなので、皆さんの意見をいただきたいということです。

委員 この小中学校は近隣市町の児童生徒の受入れをされているので、その方々は抵抗感はないと思うのですが、反対に小中一貫に魅力を感じられた方が校区外から来られるということも考えられます。基本はこの都市が住みやすい街になっていただくのが一番かと思います。商店等が充実されていないのが保護者の抵抗感になっていると思うのでどんどん整備していただきたいのですが、他の市町からの入学を希望される方々の方向性としてはどう考えておられますか。

教育長 基本的には受け入れていきますが、現在区域外にも2種類あります。1つは光都学園の子どもたちが住所を移さずに通っています。もう1つは、実際に区域ではない子どもが希望してきています。その場合は保護者が送迎するなど、通学手段が確保された場合です。

委員 上郡では中学校は1校しかないので選択肢が附属中か私立になりますので、つらい思いの生徒もいるかと思います。通学を保護者でとなると抵抗感もあるかと思いますが、オンデマンドバスとか圏域バスを増やしていただくとか、こちらに人が集まる方法ができるのかも考えていただきたいと思います。また学力の差というのが大きいと聞いておりますので、そこに関しては小中の境目がなくスムーズにいくのかなと思います。学力の低い子どもさんも、高校に上がる際すべてを見ていただいて進路を考えることが出来て、いいことではないのかなと考えました。

委員 児童生徒数を見ると、小学校から附属中へ上がる子もありますので人数が少ないと思います。地域としては残したいと思いますが、子どもたちにとっては少人数で学ぶことが本当にいいのか考えていただきたい。どちらにしても小中たしても少ない人数ですので、不安もあります。

委員 人数が多い集団型で育つのが大事な部分もあります。逆に少ない人数を活かして手厚い指導を受けられます。エリートばかりの社会ではないですので、できる子が教えてあげるとか一長一短があると思います。光都の特色としては、科学技術者が多いし人材が豊富ですので、外部講師として授業に取り入れる等地域の特色を大いに活用していただいて。確かに中3と小1では大きく違いますが、中学校の子が小学校の子を見て可愛いと思い、フォローするというような教育もあります。プラス思考で、どちらにしても高原の学校を盛り上げていくには、小中一貫教育で特色をもたしていくしかないのかなと思います。

管理者 都市自体が当初の計画と違った形になってきております。子どもたちにとっていいかどうかというのは、教育内容によってきますので、そういったときに皆さんからのご指摘をいただければありがたいと思っております。

いろいろなご意見を賜り、誠にありがとうございます。それでは今後は、横山教育長を中心に教育委員の方々、地域住民の方々、先生方と十分議論をしながら、進めていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

管理者 続きまして、(2) 新型コロナウイルス感染症対策等について 事務局より説明をお願いします。

事務局 播磨高原東小学校・中学校における新型コロナウイルス感染症対策等について説明させていただきます。まず、学力を重視する必要があるため、学習計画を見直し、運動会・体育祭、次の音楽会・学習発表会は、小学校・中学校ともに中止する運びとなっております。自然学校は、2泊3日から、日帰り3日に変更しています。トライやるウィークは、11月9日から13日までの5日間の予定で、接客業や密集する事業所を除き、実施する予定です。プール授業につきましては、本年度中止しております。修学旅行は、小学校・中学校ともに行先を変更のうえ、日帰りとし、全員参加で無事終了いたしました。マラソン大会につきましては、小学校は、記録会に変更予定、中学校は、今のところ、実施予定となっております。次に、感染症対策としまして、スクールサポートスタッフを8月下旬から3月末までの間、各小中学校に1名配置し、1日2時間、清掃及び消毒を行っているところです。また、感染症・熱中症対策用品につきましては、各学校の消毒液購入や、衛生用品の購入、スポットクーラーやサーキュレーター、教室への網戸設置を順次進めているところです。オンライン事業に向けましては、ウェブカメラ、マイクなどの導入を予定しています。学校の方では情報担当の先生が取り組む準備を行っているところです。授業、給食の状況は、空調設備を使用した状態で、教室の窓・ドアを開放しています。マスクも基本的に各自で用意し、給食は前を向いて無言で食べています。

管理者 事務局からの説明が終わりました。何か意見はございますか。

- 委員 運動会は中止で、児童会主催とありますが、コロナ対策というのは保護者を呼ばないということですね。
- 教育長 中止ではなく、保護者を呼ばずに児童のみで縮小して開催するということですね。中学校も生徒のみで他の行事として実施されるということです。修学旅行ですが、小学校で1泊では不参加という方がありましたが、日帰りということで、保護者同意のもと全員参加となりました。
- 委員 来年度、コロナ対策で各校1名専門の職員が派遣されるということで新聞に載っていましたが決まっているのですか。
- 教育長 概算要求する中で、文科省がきちんとした消毒体制がとられているかどうか専門家を学校に派遣するということです。それより専門家より、スクールサポートスタッフの配置があるかどうかの方が重要です。
- 委員 対策はされているようですが、体温チェックもされて、同じ子が出来ていないというようなことはないですか。
- 事務局 そのようなことはありません。
- 委員 だれがなっても不思議ではないですから、人権の観点からの教育として対策はされておるのですか。
- 事務局 たつの市が人権啓発のリーフレットを作っておりますので、参考に活用しながらすすめております。
- 委員 感染症対策はたつの市の方針に従って行っておられるのですか。
- 事務局 近隣の状況を見ながら、人数の少ないという特色もありますので、トライやる等では都市内で受けいれていただいたり、もちろん状況を見ながらではありますが実施しております。
- 委員 用務の先生が苦勞されていると思いますが、消毒等学校長と相談して実施されておるということですか。
- 事務局 子どもがする部分、用務員がする部分、スクールサポートスタッフと分類しながら、うまくやっていくようにしております。来年度についても国の動向を見ながら予算編成の中で考えていきたいと思っております。
- 委員 養護の先生は、コロナ以外にも感染症対策で苦勞されておりますので、バック

アップとしてスクールサポートスタッフには来年度も是非とも入っていただきたいと思います。次にオンライン授業に向けてのモバイルルーターについて、詳しく教えていただけますか。

事務局 家庭でネット環境の設置が難しい要保護、準要保護の世帯に検討しているところでは。

基本的には都市内では、ほぼ家庭でのWi-Fi環境は整っておりますが光都学園を含めて考えております。

消毒の関係でスクールサポートスタッフに入っておりますが、精神的な部分特に3年生の受験等、スクールソーシャルワーカーと連携しながら心のケアも含めてやっていきたいと考えております。

委員 冬は寒くなりますから換気したくなくなります、注意してよろしくお願ひします。

委員 先生方はオンライン授業とか、使用できますか。

事務局 まずはハード面から整備しておりますので、順次というところでございます。

管理者 続きまして、(3)意見交換に移ります。ここからは、自由な意見を各委員の方々よりお受けしたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

委員 小中一貫教育について、ソフト面でどう特色を出していくか、特色があり、この地域に住みたいというようなふうになっていく中で、魅力あるものを作ろうとすると、それに対して予算が必要となってくると思っておりますので、そのへんは管理者よろしくお願ひ致します。

委員 校区外の話もありましたが、基本はこの都市の子どもたちのためにということですので。人口を増やす施策をして頂けたらと思っております。学校があつてこそ、商店があつてこそ、病院があつてこそ住めるものですので、ここに雇用が増えれば周りも盛り上がっていくのではと思っておりますので、企業庁の方とのお話も機会を増やしていただいて、お願ひしたいと思います。コロナ対策についても、小さいところの委員会ではありますが、独自で対策を進めていただいております。今後も学校が盛り上がるようお願ひしたいと思います。

委員 小中一貫教育については、起爆剂的なことをしないとやはり播磨科学公園都市が廃れてしまうと思っておりますので、学校がその一端となればと思っております。また交通手段についても状況を見通して、通学のバス等、課題はあると思っておりますのでその都度解決して前向きに進めていただけて、上手にPRしてみんなに知っていただけるようお願ひしたいと思います。

委員 学校の在り方について、地域には大切な子どもたちですが、子どもたちには学校は学びの場所ですので、子どもを犠牲に地域を活性化してはいけないので、バランスを取って、光都学園の今後もみながらしていただきたいと思います。

管理者 時間の都合もありますので、このあたりで、ご意見を終結いたします。活発なご意見ありがとうございました。ここからの進行は、事務局にお願いします。

事務局 遠山管理者ありがとうございました。それでは、本日協議いただきました、東小学校・東中学校の今後の方向性について、今後の進捗状況等で第2回総合教育会議を開催する必要性が生じた場合は、改めて管理者と協議し調整をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。最後に、閉会にあたり、山本副管理者よりごあいさつをお願いします。

副管理者 本日は、お忙しい中、長時間にわたり、熱心な議論をいただき、誠にありがとうございました。さて、たつの市においても「学校の適正規模・適正配置基本方針」によりまして、今、まさに、地域の方々と議論を重ねているところであります。昨今の少子化問題を抱えるなか、将来的にも、子どもたちが増えていく見込みは、なかなか厳しい状態ではないかと思われまます。先ほどの協議のなかにもありましたように、この都市としての特色・魅力のある教育に向け、取り組んでいく必要があろうかと思っております。委員各位におかれましては、今後とも、播磨高原の良好で安定した教育環境の確保にご支援いただきますようお願い申し上げ、閉会の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

事務局 ありがとうございました。以上をもちまして、播磨高原広域事務組合令和2年度第1回総合教育会議を終わります。慎重なご協議ありがとうございました。

(11時30分 閉会)